

媛小春 (ひめこはる) 愛媛県育成品種

来歴

清見 × 黄金柑



育成経過

平成 6年 「清見」に「黄金柑」の花粉を交配
平成 9年 温州ミカンに高接ぎ
平成 11年 初結実し一次選抜 系統名「愛媛32号」
平成 15年 現地適応性試験開始
平成 19年 種苗法に基づく品種登録申請
平成 20年 10月品種登録

果実品質

(みかん研究所)

調査日	横径 (cm)	果径 指数	1果重 (g)	Brix	クエン酸 (g/100ml)
2月1日	7.3	114	163	13.2	1.06

(H22~R1)



特 性

樹勢は強い。成熟期は1月中旬～2月。
果実は150g前後。
果形は扁球形で果梗部にネックを生じる。
果皮は**鮮黄色で剥きやすい**。
種子は少し入ることがあるが、袋ごと食べられ、他品種にはない**フルーティーな風味**。
2月中旬には糖度12度以上、クエン酸1%程度となる。



早春に収穫される愛らしい果実を表現し「媛小春」と命名した。
個性的な地域特産果樹として、普及が期待される。
栽培は県内に限定。